



物流ニッポン

2008年(平成20年)

9 | 8 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3162号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

野田流通センター着工

CXカーゴ 来年末に稼働予定

【谷本博】シーエック車で十分程度の好立地。スカリーゴ(伊藤隆登社長、ドライグロッサリー商品)をメインに取り扱い、来

野田センターはこの倍以上の施設となる。同社ではその後も相次いで物流センターの建設を計画しており、数年後には、現在の保管施設規模が倍増となる見通し。

千葉県野田市に建設を行う野田流通センター(仮称)の地鎮祭を行った。

年末から通過型センター機能としてスタートさせるのに続いて、二〇一〇年四月以降からは保管型機能を含めた全面稼働を見込む。

の増加に伴い、狭あい化が見込まれることから、

千葉県内では、生協グループの冷凍専用センターとして初となる印西市の冷センター(印西市)の建設が進められており、

国道一六号バイパス沿いで、常磐自動車道・柏インターチェンジからも

来年六月の完成を計画。敷地面積三万三千平方メートルで、二階建て(一部三階

いる。

建設が進められており、